

2024年
10月号

ニュースレター

Anger

"実践を書く"ということ

Angerは「障がいのある子どもの放課後保障全国連絡会（以下全国放課後連絡会）」に所属しています。この団体は2004年から活動しており、障害児施策に関する調査や研究、年に2回厚労省と懇談を実施している一般社団法人です。

各地域にネットワークもあり、Angerは大阪に所属し2ヶ月に1回定例会を開催し情報交換や大阪府への交渉を行なっています。

先日、その地域のネットワークの1つ、埼玉放課後連絡会から30分程度の新人の職員向けの研修動画を作成するので、性教育の部分を担当してほしいと依頼がありました。少しずつですが、実践を繰り返してきた結果だと嬉しく思います。

その後また別のお話で、2ヶ月に1度実践検討会を開いているから参加しないかと、誘われました。その検討会では、療育の質を高めたいと真剣に取り組んでいる事業所が全国から集まり、順番に実践を発表し、それについて忌憚ない意見を出し合い語り合うという趣旨でした。実践を書いている事業所が少ない中、他事業所の実践を聞ける機会はないと思い参加しました。

1回目は緊張しながら参加し、先日2回目。事前の資料を読んだ時に子どもの思いよりも指導員の願いが優先されている内容に少し違和感を感じました。参加者みんなで、少しずつ質問や支援者の意図など話し合っているうちに、発表者の指導員さん達も「子どもの気持ちよりも、自分たちが「こうしてほしい、こう成長してほしい」という願いになっていたのかも…」と、最後は気づきを感じて話していました。

Angerの実践記録を書くことは自分の支援を見直すことでもあります。「その時の子どもに会えるということでもある」と、実践報告会の助言者でもある赤木先生（神戸大学）が話されています。今年の実践報告で対象になっていた中2の女の子が発表後からも姿が変わってきて、自我を発揮しつつも、自分の自我を押し通すだけでなく、「やろうか、やめようか」と二つの事柄の間で揺れる姿が多くなってきました。今まで自我を思う存分押し通して来たので、他者の言葉に少し譲る姿が出て来ています。その一生懸命に悩んでいる姿が愛おしく、指導員みんなが心の中で応援しながら見守っています。そんな時、「大人が発達させるのではなく、子どもが自分から発達する」という言葉がしみじみ思い浮かび、今後変わっていく姿も楽しみです。

次回の実践検討会はAngerの報告です。毎日Angerのお部屋で小さな実践がたくさん繰り広げられており、そんなことも達の姿を発表したいと考えています。

郡 奈美

第4回

今日は主役！

こほうこく

1泊2日

きょうだいキャンプ

IN とちのき村

今年度は8月24日25日の日程で行われた「今日は主役！きょうだいキャンプ」も第4回となりました。キャンプ参加者の多くはリピーターということもあり、集合時は久しぶりの再会に恥ずかしそうにしながらも、バスに乗り込むと子どもたち同士で話が弾んでいました。

1日目は沢登りにカレー作り。沢登りはコースを知っている子が率先し「ここ滑りやすいよ！」や「深くなっているから気を付けて！」など声をかけ、まるでスタッフの様に登っていました。そしてキャンプファイヤーの時間になるにつれ今年も雨と雷…。2年連続見送るのは参加者に申し訳なかったため、炊事棟で2つゲームをしてキャンプファイヤーもどきをして楽しみました。もどきでしたが、参加者はノリノリでした！（Facebookに載せてあります。ご覧ください。）

2日目の朝食作り。メニューはおにぎり！私たちは簡単と思っていたのですが、子どもたちからは「どうやって具を入れるん？」「のり、どうするか分からん？」「えっ？塩どうするん？」など自分で作ってみると分からないことだらけ。周りを見て真似して作り何と完成。普段お家の人が作ってくれる有り難さに気づいていました。ツリーイングは1番高い所・枝の上に立てる所・見晴らしのいい所と様々なロープに時間いっぱいトライし、とちのき村の自然を満喫していました。

今回で4回目のキャンプ。リピート率80%最高は3回の参加者がいる中で、子どもたちの成長を様々な場面で見ることができました。自然の中で周りの友だちに影響を受けながら挑戦してみたり時には失敗して少し落ち込んでみたり。きょうだいの話や家族の話で盛り上がり、1泊2日ですがキャンプの良さが溢れていたと感じました。

最後に、子どもたちと準備し送り出してくださった保護者の皆さま。2日間子どもの側にいて一緒に楽しみ支えてくれたボランティアの皆様。あたたかいサポートのおかげで今年も2日間のキャンプを無事に終えることができました。本当にありがとうございました。



Facebook

つくろハロウィン



今年もハロウィンの季節がやってきました。お菓子を入れるカバンを、モンスターの顔に見立てて作りました。制作を楽しみたい子は、お化けやカボチャから好きなものを選んで両面作成しました。一人ひとりが違った個性の溢れるモンスターができて、とっても可愛いです。不思議なことに、作った本人に顔が似るモンスターが出来上がり、すぐに誰の作品かわかります（笑）ある子は、今までは何重にも紙を重ねて貼るのが好きだったのに、この作品では重ならないように見本をよく見て貼っていたり、またある子は、顔のパーツをよく吟味して選び、貼る場所も考え、可愛い（かっこいい）モンスターになるように貼っていました。今年はお世話になっている飲食店に加え、地域の方もご協力してくれそうです！ハロウィンの日がとても待ち遠しいです。

12/12(木) 性教育の大切さについて

講師：郡 奈美氏（Anger管理者 公認心理師）

性に対しての困りごと、悩みごとについてお話しします。

※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。

■場所：Anger（服部）又は zoom

■時間：AM10:00～

■参加費：徳洋福社会利用者500円

外部の方1000円/1名

■申し込み・お問合せ：【TEL】(06) 6151-2996

【Mail】matsumoto@tokuyo.me 担当：中川・松本

申し込み QR



Instagram

Instagramははじめました！

tokuyofukushikai

活動の様子やお知らせなどを掲載します

